

20mm

30mm以上
空ける

X線材料強度に関するシンポジウムの 原稿の書き方

材料大学(院) ○吉田 花子
X線工業 京都 左京

材料大学 山田 太郎*

A Manuscript Instruction Manual for the Committee on X-ray Study of Mechanical Behavior of Materials

○ Hanako Yoshida (Graduate Student of Zairyo University)
Taro Yamada* (Zairyo University)
Sakyo Kyoto (X-ray Industry Inc.)
*yamada@zairyo-u.ac.jp

Abstract (可能なら)

This form is instruction for a manuscript of the Committee on X-ray Study of Mechanical Behavior of Materials. Please make your manuscript according to this format.

80mm

10mm

80mm

1. はじめに

日本材料学会X線材料強度部門委員会関連事業の原稿フォーマットを示したものです。(更新2023年9月12日)

2. 原稿作成要項

2. 1 原稿用紙

原稿はA4縦書きとし、4枚以内です。

2. 2 マージン

左右および上マージンは20mm, 下マージンは25mmです。これより外に書かれたものは印刷されません。本文は二段組, コラム幅80mm, コラム間隔10mmです。

2. 3 タイトルおよび著者名

題名は16pt, 著者名は12ptの大きさに、この用紙の例に従ってください。和文題名, 和文著者名, 英文題名, 英文著者名の順で記入してください。所属の記入方法も例を参考にしてください。また、講演者には、○印を記してください。さらに、Corresponding authorには、上付きで*印を記し、連絡先 (e-mailアドレス) を記入してください。

3. 本文

3. 1 文字の大きさ

本文は明朝系フォントの9ptの大きさに1コラムの文字数は全角で25文字程度, 行間隔は13pt程度(1コラム当たり51行程度)としてください。

3. 2 参考文献

参考文献は末尾に示した例のようにまとめてください。詳しくは、会誌「材料」形式を参考にしてください。

<https://www.jsms.jp/kaishi/kiyakunew.htm>

3. 3 図および表

図, 表を本文で引用するときはFig. 1, Fig. 2, Table 1, Table 2と記してください。図および表の中の文字並びにキャプションは英語を使用してください。また、写真, 図および表は明瞭になるよ

うにご配慮ください。

3・4 その他

句読点は全角の「,」(カンマ)と「.」(ピリオド)を使用してください。また、見出しに使うカッコは半角, その他のカッコは全角です。

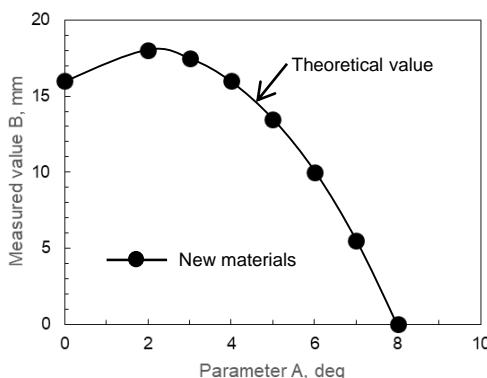


Fig. 1. Relation between parameter and measured value.

3. 4 原稿送付先

基本的にPDFファイル(グレースケールとカラー原稿)をメールで送付してください。また、大容量等でメールで送れない場合はCDやUSBに記録して郵送してください。

【CDやUSBで郵送する場合】

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
日本材料学会X線シンポジウム係

【データで送付する場合】

件名: X線シンポジウム原稿(講演番号)
送付先: jimmu@office.jsms.jp

参考文献

1) T. Yoshida, S. Kyoto, "X-ray stress measurement of new materials", Journal of the Society of Materials Science, Japan, Vol.49, No.12, pp.139-145 (1998).

25mm